

第1回 正置 友子先生講演会

絵本というたからもの

—幼い子どもたちと絵本を読むということ—

長年の活動を通じて、たくさんの子どもたち・大人たちと絵本を読んでこられた正置先生に絵本の楽しみや大切さをお話しいたします。

令和7年10月5日(日)

13:30~15:00 (開場 13:00~)

LIC はびきの3階 音楽実習室

定員:60名(先着順) 参加費:無料 ※一時預かり保育あり

参加には事前申込みが必要です。

詳しくは、チラシ・図書館ホームページをご覧ください。

絵本もたくさん紹介されます!



<講師> 絵本学研究者 正置 友子先生プロフィール

1973年に吹田市の千里ニュータウンにて、青山台文庫を開設。
1994年から6年間イギリスに留学し、ヴィクトリア時代の絵本を研究し、
2000年にローハンプトン大学大学院にて博士号(PhD 文学)を授与される。
世界で初めての本格的なヴィクトリア時代の絵本の研究学術書に対して、
イギリスのChildren's Books History Societyより「ハーベイ・ダートン賞」を
授与される。2018年に大阪大学大学院で、世界ではじめて哲学とく子どもと
絵本>を結ぶ研究論文で博士号(学術)を授与される。
聖和大学教授を経て、現在、青山台文庫・絵本学研究所主宰。

主な著書:『おかあさん、ごはんの本とどっちがすき』(創元社)『保育の中の絵本』(編著・かもがわ出版)『A History of Victorian Popular Picture Books』、『イギリス絵本留学滞在記』、『メルロ=ポンティとく子どもと絵本』の現象学—子どもたちと絵本を読むということ—、『生きるための絵本—命生まれるときから命尽きるまでの絵本 127冊—』(以上、風間書房)、訳書:『絵本の絵を読む』(玉川大学出版部)など

予告

第2回講演会 11月26日(水) 13:30~16:30 羽曳野市役所別館3階 大会議室
『生きるための絵本—未来に生きる子どもたちと絵本を読むということ—』(予定)

主催:羽曳野市立中央図書館(072-950-5501) 羽曳野市子ども文庫連絡会 後援:大阪府子ども文庫連絡会

